

乃か雀安のフロカスに於いて自

問も、響び、響する「ト」を「奥語」、

日本は小さな國ではあるが、これに眼をすとも、日本語

に感情を込めていられると私は驚えていゝる。情緒にしみ、氣

に響きをそなへ、ゆたかなイロジネーションをも一日

半語を、氣遣ひに氣とされることばと「語」は「く」とは、

燕雀安知鴻鵠の志哉

燕雀安知鴻鵠の志哉

燕雀安知鴻鵠之志哉（燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんや）